



ハチドリ通心（信）
2008年6月号

発行者 楽しい株式会社

住所 北九州市若松区向洋町10番1
北九州エコタウン実証研究エリア内

Tel 093-752-5300

Fax 093-752-5303

E-mail ceres@fun-c.jp

URL http://www.fun-c.jp

お蔭様で楽しい株式会社は、7周年を迎えました！

平成13年6月に設立し、今年6月をもって丸7年を迎えることができました。

設立当初は、生ごみ処理機の製造・販売のみのサービスでしたが、その後CERES安全な竹割り箸の製造竹炭へのリサイクルがスタートしました。

そして、3年前北九州市環境未来技術開発助成に採択いただいたことを契機に、北九州市八幡西区野面から若松区の北九州エコタウンにリサイクルセンターを新設し、同時に本社も移転併設しました。

今年3月をもって、北九州市環境未来技術開発助成の実証研究が終了し、今後は、事業化と農家との連携強化を推進していきます。

産・官・学・民の有機的な連携で成り立つメリーズシステムは、多くのハチドリに支えられながらここまでできましたが、今後とも「顔の見えるリサイクル」を目指してより充実した仕組み作りを精進して参りますので、今後とも変わらぬご支援、ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い致します。

当社リサイクルセンターの紹介

今回は、改めて当社の核となる技術、堆肥化装置を含むリサイクルセンターを紹介いたします。

3年間の堆肥化研究を経て、「硝酸塩を低減化できる」土壌改良材の製造が確立し、また農家の労力を軽減できる「液肥」が完成しました。（詳しくは別号で紹介）



第1研究棟



堆肥化装置「清くん」

1, 2年目は、「安定して短期間で完熟堆肥を作る」「硝酸塩を低減できる土壌改良材を作る」をテーマに研究を重ねてきました。まず、さまざまな事業所から半年に1度回収される一次発酵分解床を、第1研究棟に運びます。そこで脱塩分・脱油脂工程を経て、堆肥化装置に移し、成分も安定させながら、60日から80日での完熟堆肥化技術及び硝酸塩低減化技術を確認しました。



第2研究棟



液肥化装置

更に3年目は、第2研究棟において農家の労力を軽減化できる「液肥」の製造に取り組んできました。

原料の段階で塩分や油脂分が少ない食品資源を利用して、農家の皆様に自信を持って提供できる有機液肥が完成しました。

リサイクルセンターでできた堆肥は、循環無農薬野菜へ



（株）カーニバル本城店様の循環無農薬野菜コーナー

中国のぎょうざ問題に端を発した食品の安全性は、まだまだ深刻な問題として尾を引いています。

そんな中、農薬や化学肥料を一切使わない農業を50年に渡って続けている農協が、大分県耶馬溪にある下郷農協です。

有機野菜のトップブランドである下郷農協で、当社自慢の生ごみ堆肥「和み（なごみ）」を使っていたいただいております。

循環型社会の実現を目指す当社と循環型農業を目指す下郷農協が連携して循環無農薬野菜の提供が実現しました。

当社メリーズシステムにご参加いただければ、安全・安心な無農薬野菜を安定的に購入することができます。

6月からは、夏野菜がたくさん採れる時期です。この機会に是非無農薬野菜の購入をご検討下さい。

メリーズシステム事業部 新メンバー紹介

実証研究も終え、6月から農家の皆様との連携強化の推進とメリーズシステムをより多くの皆様にご紹介する新メンバーを紹介いたします。



川部寛行です。熊本県出身で、主に熊本地区を担当します。

熊本の皆さんへメリーズシステムのリサイクルループの良さを紹介します。



中神善彰です。埼玉県出身で、千葉のメリーズジャパンに出向しておりましたが、この度九州に戻ってきました。

よろしくお願い致します。



竹田英敬です。北九州出身で、これまで研究開発部において堆肥の製造研究をしておりましたが、この度皆様に仕組み全体をご紹介する担当となりました。

都市と農村を繋ぐメリーズシステム 相互交流深まる！



有機野菜生産者の畑にて

5月13日リサイクルの仕組みを見学いただくツアーを実施しました。

都市部からの多数の参加者が、下郷農協の生産者の方々のもてなし料理を味わい、生産者の畑を見学し、この様子はNHKテレビでも紹介されました。

また明けて5月19日下郷農協の有機野菜生産組合の農家様が北九州エコタウンの当社リサイクルセンターを見学されました。



当社リサイクルセンターを見学する農家様

ハチドリ通心（信）は楽しい株式会社のホームページをご覧ください。（松永、竹村が担当しました。）